

平成26年度第2回花巻市立図書館協議会 会議録

1 期 日 平成26年12月5日（金）午後1時30分～午後3時

2 場 所 花巻図書館 1階会議室

3 出席者

(1) 協議会委員

和田 政男委員、市川 浜委員、門馬 優子委員、高橋 則子委員、
日下 明久美委員、坂本 知彌委員、佐藤 三恵子委員、
白藤 祐三委員、佐藤 寧委員（計9名）

(2) 事務局

花巻図書館長 佐々木 昭司、大迫図書館長 多田 広美、石鳥谷図書館長
小原 茂隆、東和図書館長 菅野 和、花巻図書館副館長 佐藤 純一、
花巻図書館業務係長 吉田 郁子、石鳥谷図書館上席主任 菊池 桂
生涯学習交流課 課長 市川 清志、複合施設整備室 主査 小松 博幸

4 欠席委員 阿部 祐基委員、佐々木 さつき委員（2名）

5 傍聴者 2名

6 会議の概要

・ 会議成立の報告（佐藤花巻図書館副館長）

11名中9名出席。出席委員が構成員の過半数を超えているので、図書館協議会規則第7条により成立することを報告

(1) 開 会（佐藤花巻図書館副館長）

ただ今から、平成26年度第2回花巻市立図書館協議会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

(2) 会長挨拶（坂本会長）

皆様、朝早くからご参加いただきご苦労様です。午前中は、視察ということで、新しい一関図書館を視察し、大変すばらしく、羨ましく感じてまいりました。これから、現実に戻り会議を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

(3) 議 事（図書館協議会規則第6条により坂本会長が議長となる。）

①平成26年度事業実施状況等について

- ・ 平成26年度事業の各館共通事業のブックスタート及びブックスタートプラス、こども読書くらぶ、こども映画会について、花巻図書館吉田業務係長から説明
- ・ 各4館の事業については、各館から実施状況を説明

【質 疑】

(坂本会長)

ただ今、報告いただきました実施状況について、ご質問等ありませんでしょうか。

(坂本会長)

進行していて恐縮ですが、私からお聞きします。石鳥谷の企画展で豆腐作品というのがありますが、豆腐をどのようにするのでしょうか。

(小原石鳥谷図書館長)

石鳥谷に何件かの豆腐屋さんがあり、よろくや商店という高齢のご夫婦が昔ながらの豆腐づくりを早朝4時ごろから行っていますが、その工程を紹介したものでございます。

(日下委員)

東和図書館の事業にビブリオバトルとありますが、どのようなものでしょうか。

(菅野東和図書館長)

ビブリオバトルとは、最近、大人や大学生等を中心に行われているもので、それぞれが一押しの本を3～5分ほどの時間でお薦めポイントを説明し、その中でどの本が一番お薦めの本かを決め、その本をチャンプ本と言うそうですが、多くの人にそのチャンプ本を紹介するものです。県立図書館では、前からビブリオバトルを行っており、今月のチャンプ本を展示、紹介しています。富士大学の早川先生に中高生及び成人向けに読書推進をするために何か目新しいものはないか相談したところ、このビブリオバトルを紹介いただき、指導もいただけるということでしたので、取り組むこととしたものです。詳細については、これから相談しながら進める予定です。

(坂本会長)

ほかにご意見等ありませんか。ないようですので、次に進みます。

②平成27年度花巻市こども読書くらぶ事業(案)について

- ・ 来年度のこども読書くらぶ事業(案)について資料に基づき、花巻図書館吉田業務係長から説明

【質 疑】

(坂本会長)

こども読書くらぶ事業について、今年度の活動状況報告も踏まえて、来年度の計画を説明いただきましたが、この件について何かご質問、ご意見等ありませんでしょうか。

(坂本会長)

ご意見等ないようですので、来年度はこの計画案に沿って実施していただくということよろしいでしょうか。

(坂本会長)

よろしいということですので、来年度もよろしくお願いします。

(坂本会長)

それでは、本日の議題の二つは終了しました。次のその他については、事務局のほうにお返ししますので、よろしくお願いします。

(4) その他

(佐々木花巻図書館長)

ありがとうございました。それでは、その他でございますが、次第に「まちづくりと施設整備の方向について」を記載しておりますが、その前に1点だけ私のほうから説明させていただきます。さる第1回の図書館協議会で広域貸出し、いわゆる貸出し範囲の拡大についてお話を申し上げ、ご了解いただきましたことから、事務手続きを進めまして、10月27日に具体的には図書館の規則を改正しまして、27日以降、盛岡市、宮古市、北上市、遠野市、奥州市、雫石町、紫波町、西和賀町を図書資料の貸出し範囲といたしました。なお、11月時点でどの位の方が登録されたかと言いますと、28名の方が新規登録されております。内訳は、北上市

が11名、盛岡市が4名、紫波町が9名、遠野市が4名となっております。問い合わせ等もありますので、今後このような形で推移していくものと考えております。以上でございます。

それでは、生涯学習交流課から委員の方々に説明の申し入れがありました「まちづくりと施設整備の方向について」、市川生涯学習交流課長から説明をいただきます。よろしく申し上げます。

- 「まちづくりと施設整備の方向について」を資料に基づき、概略を市川生涯学習交流課長より、また、詳細内容を小松主査より説明があり、その後、委員から意見等をいただいた。

【おもな意見等】

- 今回の見直しは、総論として良いと思っている。将来、花巻市の人口も減ってくるものと思われるので、コンパクトシティのように文化施設も集約していかなければならないと考えている。現図書館は大分古く立て替えが必要であることは承知していた。文化会館も同様に老朽化してきており、改築が望まれるが、同じ規模のものを立て替えるには莫大な費用が掛かるため難しいと思われ、解体となると花巻市にホールがなくなる。まなび学園のホールは音響的に問題があるため、将来の花巻の舞台芸術の場所として、財政状況も勘案し、500人規模程度のホールを図書館と複合して文化の象徴にしてはどうかと考えていた。昨年度の図書館とこどもの城との複合施設は、規模的・機能的にどうかと思っていたので、見直しは賛成である。ぜひ、文化に興味や問題意識を持っている人を中心に再度検討をお願いしたい。病院問題もあると聞いているが、文化と医療は別次元のことなので、文化が廃れないよう図書館建設を最優先で進めていただきたい。
- 図書館整備については、今までかなりの人と時間を掛けて検討してきたが、今ここにきて多くの課題が出てきて、見直ししなければならなくなったことは非常に残念である。ただ、時の流れとともに、時代や考え方が変わっていくことはやむを得ないし、最高のものを造るには時間を掛けて見直しながらやっていくことは大事である。
- 図書館整備について検討した市民懇話会では、こどもの城との複合施設の考えはなかったもので、今回の見直しで別になることは良かったと思う。場所も図書館は生涯学習の拠点であるまなび学園のところが候補地になったことはいいことである。ただ、まなび学園の体育室は発表の場としては非常に使い勝手が悪いので、図書館整備に併せて改修していただければと思う。まなび学園の場所は駅や学校からも近いので、そのような街の中心に造っていただきたい。
- 図書館は学習施設としてだけでなく、文化、コミュニティ、情報拠点など多種多様化してきている。新聞では、30万冊規模の図書館と報道されていたが、図書の冊数で規模や大きさを判断されると、使い勝手の悪い施設になると思うので、花巻市に沢山あるカルチャー資源を取り入れて、市民に親しまれ、教育的な意味合いを持つ施設となるよう取り組んでいただきたい。
- 前の複合施設には、こどもの城のほかに先人を顕彰するスペースを備えた図書館であったので、単独施設になってもそのような機能を入れてほしい。
- 性格の違うものを複合施設とすることに違和感を感じていたので、今回の見直しは良かったと思う。ただ、図書館整備については、以前に市民懇話会を立ち上げて、時間を掛け

て議論を重ね、意見集約をした経緯があるので、その成果を無駄にしないよう、検討結果を生かして進めてほしい。

(佐藤花巻図書館副館長)

たくさん大変貴重なご意見等をいただき、ありがとうございました。市川生涯学習交流課長から説明をいただきました「まちづくりと施設整備の方向について」については、これから多くの市民の方々からもご意見をいただく場を設けていくとのことでありますし、また、順次進めていく中で、再度委員の皆様からご意見をいただく機会もあるようですので、その際はまた活発なご意見をよろしくお願いします。

事務局からはその他は特にございませんが、全体的に何かございましたらお願いしますが、ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、長時間大変ご苦労様でした。以上を持ちまして平成26年度第2回花巻市立図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。